

事業統合事例	佐賀西部広域水道企業団(令和2年4月1日～)																																			
事業規模等	給水人口 : 154,507 人 1日最大給水量 : 60,253 m ³ /日 給水面積 : 482.34 km ² 職員数 : 【直営】 95 人 【第三者委託】 人 【委託】 9 人 ※数字は、令和2年4月1日時点																																			
スキーム等																																				
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○平成20年2月 企業団議会で、用水供給事業と水道事業の事業統合を目指し、検討を進めていくことを表明 ○平成25年8月 「水道事業統合基本計画書」報告 ○平成27年10月 「佐賀西部広域水道事業統合協議会」設置 ○平成28年12月 「水道事業統合計画書」策定 ○平成30年3月 「佐賀西部広域水道企業統合に関する基本協定書」締結 ○令和2年4月 水道事業経営開始 																																			
広域連携(事業統合)のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の統廃合や計画的・効率的な施設整備による更新費用削減 ・広域化に対する国の交付金の活用 ・事業規模拡大による、効率的な事業運営及び人材育成 ・組織の一体化による人件費の削減 ・組織規模拡大による災害対応、危機管理能力の向上 																																			
広域連携(または事業統合)のデメリット(課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務形態、業務内容など、統合により変化した事務への対応に伴う職員間の連携不足 ・水道料金の格差(地域間格差) 																																			
業務手法(公民連携等)	公営が基本 + ②業務委託(個別・仕様委託) 検針業務委託、浄水場運転管理業務委託																																			
対象業務(維持管理体制)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td colspan="6">経営・計画、管理(総務・人事・財務)</td> </tr> <tr> <td>直営</td> <td colspan="2">営業</td> <td>維持管理(運転・保全)</td> <td colspan="3">更新等(設計・建設等)</td> </tr> <tr> <td>共同化等</td> <td>窓口</td> <td>検針・料金徴収等</td> <td>施設</td> <td>管路</td> <td>施設</td> <td>管路</td> </tr> <tr> <td>共同委託</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		経営・計画、管理(総務・人事・財務)						直営	営業		維持管理(運転・保全)	更新等(設計・建設等)			共同化等	窓口	検針・料金徴収等	施設	管路	施設	管路	共同委託							委託						
	経営・計画、管理(総務・人事・財務)																																			
直営	営業		維持管理(運転・保全)	更新等(設計・建設等)																																
共同化等	窓口	検針・料金徴収等	施設	管路	施設	管路																														
共同委託																																				
委託																																				
浄水施設維持管理	浄水場運転管理業務委託 (委託先: 昭和メンテナンス工業株)																																			